

細胞の障害性評価 (ニュートラルレッドアッセイ)

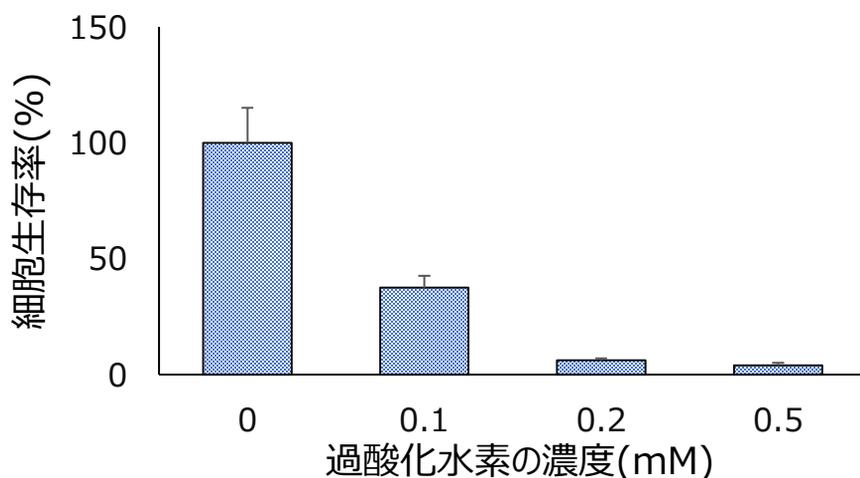


SUSCARE

1. 測定条件

正常ヒト線維芽細胞を2日間血清培地中で培養後、所定の濃度の過酸化水素を2時間暴露し、さらに24時間回復培養を行った。その後、ニュートラルレッド(NR)を添加して培養後、細胞が取り込んだNRを抽出後、プレートリーダーで取り込んだNR量を吸光度として定量した。過酸化水素を入れていない試料の吸光度を100%とし、試験試料の吸光度から細胞の生存率を算出した。

2. 測定結果



3. 測定結果から得られる情報

ニュートラルレッドアッセイは細胞内に取り込まれた色素(ニュートラルレッド)の量を定量することで、細胞障害性を評価する方法である。色素の取り込み量から細胞の生存率(薬物の障害性)を評価することができます。有効性評価の前の予備検討等にご利用いただけます。

4. 試験料

お問い合わせください。

※あくまで参考価格です。試験内容によって料金は変わりますことご了承下さい。
ご不明な点等ありましたら[お問い合わせ](#)ください。

2020/09/01